

第63期 (2026年3月期)

決 算 公 告

(2025年 4月 1日 から
2026年 3月 31日 まで)

北海道江別市工業町19番地の6

株式会社菊水

貸 借 対 照 表

(2026年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	5,537,741	流動負債	1,179,358
現金及び預金	2,130,848	買掛金	507,052
売掛金	1,094,925	リース債務	1,688
商品及び製品	57,619	未払金	363,019
原材料	144,361	未払費用	120,705
仕掛品	42,283	未払法人税等	43,966
貯蔵品	16,454	未払消費税等	7,738
関係会社預け金	2,020,235	賞与引当金	101,038
その他	31,012	役員賞与引当金	17,877
		預り金	16,272
固定資産	2,567,889	固定負債	215,750
有形固定資産	1,933,137	長期未払金	19,516
建物	818,963	資産除去債務	5,780
構築物	7,487	退職給付引当金	184,516
機械装置	828,912	長期リース債務	5,937
車輛運搬具	2,825		
工具器具備品	29,790		
リース資産	6,932		
土地	230,339		
建設仮勘定	7,886		
無形固定資産	3,264	負債合計	1,395,109
ソフトウェア	2,652	純資産の部	
電話加入権	611	株主資本	6,511,104
		資本金	180,000
		資本剰余金	9,518
		資本準備金	9,518
投資その他の資産	631,487	利益剰余金	6,321,586
投資有価証券	487,733	利益準備金	35,481
出資金	4,661	その他利益剰余金	6,286,104
繰延税金資産	11,558	配当平均積立金	150,000
その他	127,534	別途積立金	1,000,000
		繰越利益剰余金	5,136,104
		評価・換算差額等	199,416
		その他有価証券評価差額金	199,416
		純資産合計	6,710,520
資産合計	8,105,630	負債・純資産合計	8,105,630

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

注記事項

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

市場価格のない株式等
以外のもの 決算日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等 移動平均法による原価法

(1) 棚卸資産

製品及び仕掛品 総平均法による原価法

商品及び貯蔵品 最終仕入原価法

原材料 移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法

ただし、1998年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)及び、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

無形固定資産

(リース資産を除く)

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員賞与引当金

役員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。当該履行義務は、国内販売については、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間であるため、商品又は製品の出荷時点において充足されると判断し、出荷時点で収益を認識しております。国外への販売については、輸出の取引条件による在庫の保有に伴うリスクが顧客に移転する時点で収益を認識しております。

当期純損益金額

当期純利益 235,887千円

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。